

平成28年度 旭川市の情報化に関する重点的な取組

近年の情報通信技術の発展はめざましく、スマートフォンなどの情報通信端末に限らず、あらゆるモノがネットワークを介して情報をやりとりする「IoT（モノのインターネット）」なども注目されています。しかしながら、技術の発展に伴い、サイバー攻撃も巧妙化・高度化しており、様々な情報を取り扱う企業や行政にとって、情報セキュリティの強化は差し迫った課題となっています。

旭川市では「旭川市ICT推進プラン」を、平成24年度から平成26年度までの情報化計画として策定し、ICTを活用した市民サービスの向上や行政事務の効率化を目指して取組を行ってきましたが、社会の情報化の流れに柔軟に対応するため、平成27年度からは「旭川市ICT推進プラン」の基本的な考え方を踏襲し、当年度の情報化に関する重点的な取組について取りまとめることとしました。

平成28年度の重点的な取組は次のとおりです。

平成28年度の重点的な取組

行政事務の高度化・効率化

マイナンバー導入に伴う
情報セキュリティ対策の強化

- ・ 端末からの情報持ち出し不可設定や二要素認証を導入する。
- ・ LGWAN系とインターネット系のネットワークを分離する。

業務システム最適化の推進

- ・ コスト削減等のため、システム調達ルールの変更・修正を行う。
- ・ 共通基盤構築に向けた仕様検討を行う。

新たなサービスの創出による市民の利便性の向上

オープンデータの取組の拡充

- ・ 公開データ件数を拡大する。
- ・ ニーズが高い情報を優先してオープンデータ化する。
- ・ オープンデータの取組を周知し、認知向上を図る。

マイナンバー導入に伴う情報セキュリティ対策の強化

【具体的取組】

マイナンバーを利用する各システムに、情報持ち出し不可設定や二要素認証の導入等情報セキュリティの強化対策を行う。また、L GWAN^{*}を利用する一般事務システムとWEB閲覧や電子メールを利用するシステムのネットワークを分離する。

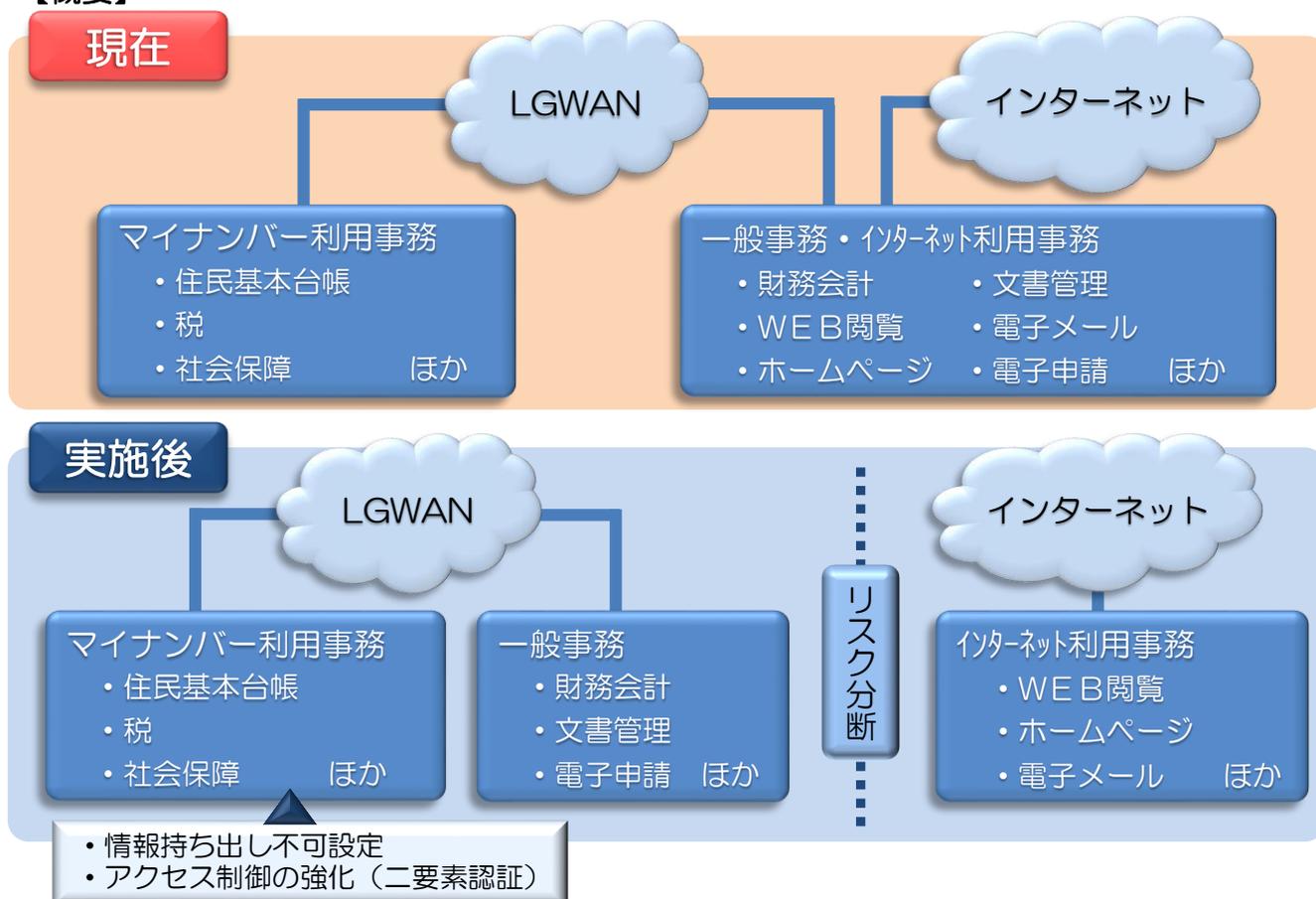
※総合行政ネットワーク（L GWAN）

地方公共団体を相互に接続する行政専用のネットワーク。地方公共団体相互間の情報共有や情報の高度利用を図るための基盤として整備されたもの。マイナンバーの情報連携にも活用される。

【この取組で期待される効果】

- ・ 情報セキュリティ強化により、住民（個人）情報の流出を徹底して防ぐことができる。
- ・ L GWANとインターネットを分離することにより、マイナンバーの情報連携に活用されるL GWAN環境のセキュリティを確保することができる。

【概要】



【作業スケジュール】

- | | | |
|-------|----|----------------------------|
| 平成28年 | 5月 | 旭川市情報セキュリティ委員会による実施の承認 |
| 平成28年 | 6月 | 実施方法・導入システム等の決定 |
| 平成28年 | 9月 | L GWAN系とインターネット系のネットワークを分離 |

業務システム最適化の推進

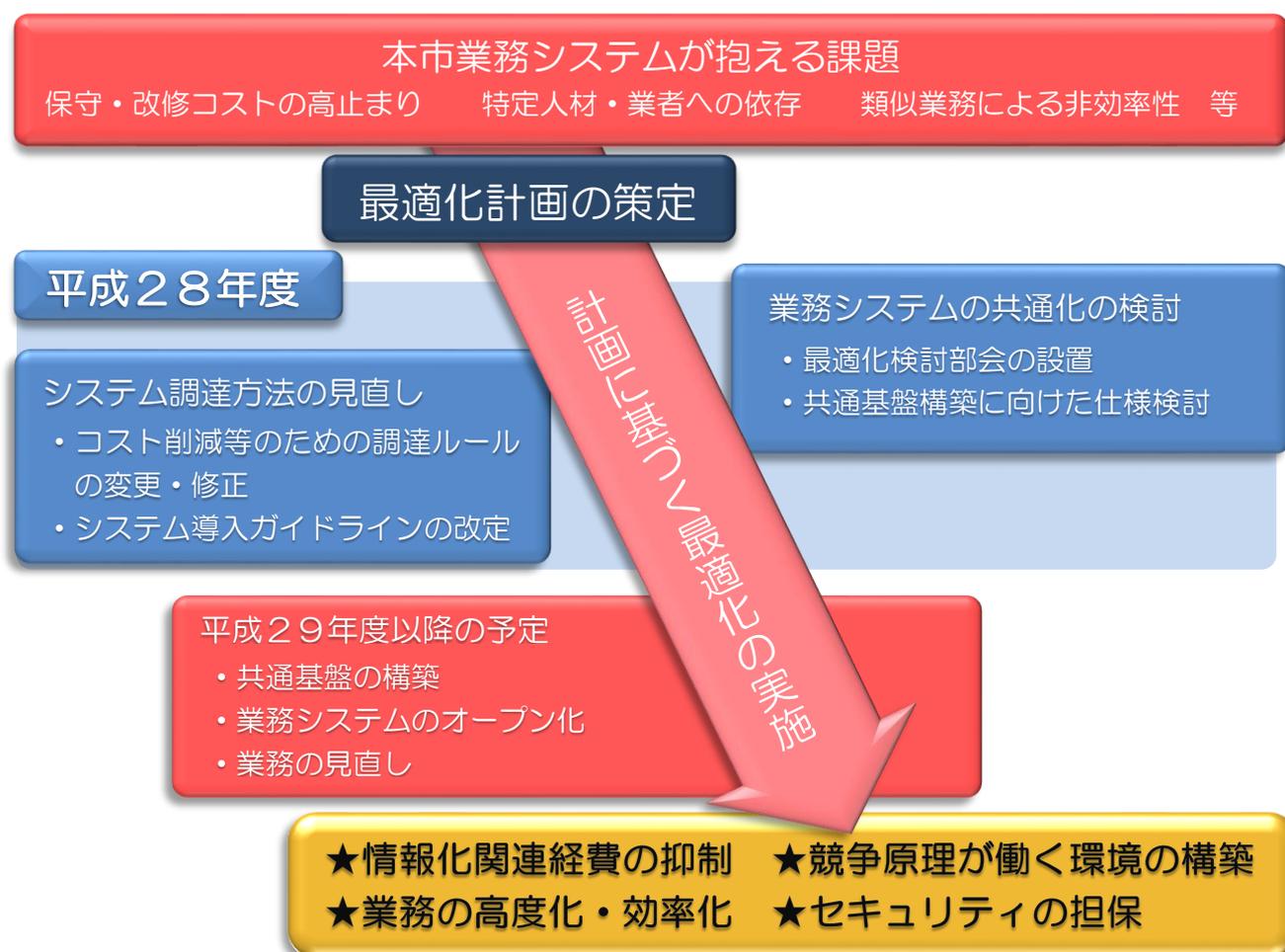
【具体的取組】

業務システム最適化計画に基づき、システム調達方法の見直し及び業務システムの統合・連携のための共通基盤の仕様検討を行う。

【この取組で期待される効果】

- ・ 最適化計画に基づくシステム調達ルールの適正化により、システム導入及び運用のコストが削減される。
- ・ 共通基盤による各業務システムの機能を共通化することで、二重投資の解消や業務の高度化・効率化が図られる。

【概要】



【作業スケジュール】

平成28年	6月	最適化検討部会の設置
平成28年	7月	全体最適化にかかる推進・検討体制の整備
平成29年	3月	情報システム導入ガイドライン改定

オープンデータの取組の拡充

【具体的取組】

平成27年度からホームページ上でオープンデータの公開を行っているが、引き続き公開データの拡大を行う。また、データの利用促進のため、他団体の利活用事例等を参考に、よりニーズが高いと思われる情報を優先して公開する。

【この取組で期待される効果】

- ・ 企業、民間団体等の公共データ利活用により、新たなビジネスやサービスが創出され、経済の活性化が図られる。
- ・ 市民、企業等と公共データを共有することにより、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化など市民協働が促進される。
- ・ 市民が本市の施策等について分析・判断が可能となり、行政の透明性が向上する。

【概要】

平成27年度

- 1 二次利用が可能なルールでのデータ公開
 - ・ オープンデータサイト利用規約策定
 - ・ オープンデータサイトの公開

課題

データの大半が PDF 等の特定のアプリに依存する形式なため使いにくい。

課題

データの種類が少なく、利用したい情報がオープンデータになっていない。

- 2 機械判読に適した形式でのデータ公開
 - ・ データを機械判読可能な形に整形し公開
 - ・ メタデータの公開

平成28年度

- 3 オープンデータ利用の促進
 - ・ 公開データの拡大
 - ・ ニーズが高い情報を優先的に追加
 - ・ オープンデータの取組の周知・認知向上

【作業スケジュール】

- (通年) 公開データの拡大
ニーズが高い情報のオープンデータ化
オープンデータの取組の周知・認知向上